

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 28 年 9 月 29 日 (2016.9.29)

【公開番号】特開 2015-61285 (P2015-61285A)

【公開日】平成 27 年 3 月 30 日 (2015.3.30)

【年通号数】公開・登録公報 2015-021

【出願番号】特願 2013-195756 (P2013-195756)

【国際特許分類】

H 0 4 M 1/03 (2006.01)

H 0 4 M 1/66 (2006.01)

H 0 4 M 1/04 (2006.01)

H 0 4 M 1/21 (2006.01)

H 0 4 M 1/00 (2006.01)

H 0 4 M 1/05 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 M 1/03

H 0 4 M 1/66

H 0 4 M 1/04 Z

H 0 4 M 1/21 G

H 0 4 M 1/21 M

H 0 4 M 1/00 U

H 0 4 M 1/05 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 28 年 8 月 10 日 (2016.8.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

耳軟骨との接触により軟骨伝導を得るための軟骨伝導部を有することを特徴とする腕時計型送受話装置。

【請求項 2】

腕時計にはめた手を顔の前でクロスさせて反対側の耳に腕時計を接触させることにより軟骨伝導を得る請求項 1 記載の腕時計型送受話装置の送受話方法。

【請求項 3】

表示部を有し、前記表示部を耳に接触させることを特徴とする請求項 2 記載の送受話方法。

【請求項 4】

手首に巻きつけるベルト部を有し、前記ベルト部を耳に接触させることを特徴とする請求項 2 記載の送受話方法。

【請求項 5】

腕時計の手の平側を腕時計を嵌めた手と同じ側の耳に接触させることにより軟骨伝導を得る請求項 1 記載の腕時計型送受話装置の送受話方法。

【請求項 6】

腕時計を嵌めた手を耳に接触させることにより軟骨伝導を得る請求項 1 記載の腕時計型送受話装置の送受話方法。

**【請求項 7】**

請求項 2 から 6 のいずれかの送受話方法の情報とともに提供されることを特徴とする腕時計型送受話装置。

**【請求項 8】**

送受話方法の情報を表示する手段を有することを特徴とする請求項 7 記載の腕時計型送受話装置。

**【請求項 9】**

送受話方法の情報を有する取扱説明媒体とともに提供されることを特徴とする請求項 7 または 8 記載の腕時計型送受話装置。

**【請求項 10】**

送受話方法の情報を有する広告媒体とともに提供されることを特徴とする請求項 7 から 9 のいずれかに記載の腕時計型送受話装置。

**【請求項 11】**

手首から肘側への指向性を有するマイクを有することを特徴とする請求項 1 および 7 から 10 のいずれかに記載の腕時計型送受話装置。

**【請求項 12】**

携帯電話との近距離通信部を有し、携帯電話との連携のため相互の電源状態の情報を交換することを特徴とする請求項 1、および 7 から 11 のいずれかに記載の腕時計型送受話装置。